

Wind

Take
Free

11
2025

TSUSHIMA

★
津島
の
太鼓



想いが息づく、
地域の彩り探訪。

Precious Stories



天王信仰と水運が育んだ、津島の伝統工芸。

神事や祭り、歌舞伎や能、応援など、あらゆる場面で音を響かせる打楽器・和太鼓。
歴史をさかのぼると、縄文時代には情報伝達的手段として使われていたという。

そんな和太鼓を900年以上も前から製造・販売する老舗が、
“日本最古の太鼓屋”といわれる堀田新五郎商店だ。
脈々と受け継がれる、「津島の太鼓」に秘められた職人のこだわりとは。

津島の太鼓

つしまのたいこ



数々のものづくりが発展した、 尾張を代表する商業都市・津島湊。

濃尾平野の西部に位置する津島は、江戸時代まで天王川がまちの中を流れ、舟運の拠点として繁栄。商いだけでなく、雪駄や鍛冶、ろうそく、提灯などのものづくりも盛んで、そのにぎわいぶりは、「尾張の金銀はすべて津島を通る」といわれるほど。伊勢・美濃・尾張を結ぶ交通の要衝・津島湊は、勝幡城を拠点とする織田家が支配し、尾張経済の中核を担う商業都市として栄えた。



現在、天王川は丸池となって残り、7月下旬には津島神社の祭礼「尾張津島天王祭」の斎場となる。



天王川が流れていたことがわかる「津島神嶋之圖」。
出典：「張州雜志 第8巻」愛知県郷土資料刊行会

関係するという。天王信仰とは、疫病除けの神として知られる牛頭天王を信仰するもので、現在、全国に約3000社ある天王社の総本社が津島神社になる。当時、津島神社の神職たちは普及活動のため、各地へ赴くとともに、それぞれの地域の需要や特産物の情報を収集。これをもとに、資材が集まる津島湊でさまざまな物を作り、各地へ送り届けることで活気づいたそうだ。「津島の太鼓」も同様に、交易が盛んになると尾張を飛び出して各地の神社や寺へ納められ、広域に浸透するようになっていく。

漆と金箔を施し、昭和の皇太子殿下(現上皇陛下)に献上した飾り太鼓。



かつては全国各地にあった太鼓店も、ネットショップの普及や祭りの減少などとともに姿を消し、津島では1店舗のみに。それが材料の調達から製造・販売までを行う「堀田新五郎商店」だ。

伊勢湾台風の影響により史料を失ったため創業年は不明だが、可児市の神社に残る太鼓から、同店の屋号と永長元年(1096年)と書かれた製作年号が確認されている。「少なくとも930年ほど前には太鼓を製造していた

津島のまちを盛り上げてきた、 日本最古の太鼓店。



左から、首からつるして叩く桶太鼓、拍子をとる締太鼓、代表的な長太鼓。工房では、あらゆる太鼓を手掛けている。



24代目が津島に広めた石採祭。毎年10月第1日曜日になると、太鼓や鉦(かね)を打ち鳴らして市内を練り歩く。

ようです」と、27代目を承継する堀田さんは思いを馳せる。手仕事によるていねいな作りは各方面からの信頼が厚く、現存する「日本最古の太鼓屋」といわれ歴史を刻み続ける。

また、曾祖父にあたる24代目は「地元で新たな祭りを」と、桑名の石取祭車を購入。自作の太鼓とともに披露し、津島の石採祭が始まるきっかけになるなど、地域にも大きな影響を与えてきた。現在の上皇陛下ご誕生時には、飾り太鼓を献上し、津島の名を全国に知らしめ、当時は大きな話題にもなった。

幼い頃から作業場に入出入りして職人の手伝いを始める。生まれつき足に持病があり、高校時代に負ったケガが悪化したため大学を中退、家業に入る。平成30年(2018年)、27代目として襲名。部屋には自作の小さな太鼓を飾るほどの太鼓好き。サイズが小さくなるほどに製造の難易度が上がるという。趣味は、時刻表で調べた時間通りに鉄道旅行をすること。

堀田新五郎商店
27代目

堀田新五郎

Hotta Shingoro



堀田さんの太鼓は、祭事用のものが多く、1年で最も忙しくなるのが、祭り太鼓のメンテナンスが続く秋。「日本各地、祭りごとに太鼓の奏でる音が違い、地域それぞれの音を出すのは難しい」と、堀田さんは皮の張りを調整する作業を振り返る。通常は、使い込みによって張りが緩くなり、音が変わることも計算するのだとか。しかし、要望はさまざまで、祭り当日に皮の鼓面が破れてもいいから強く張ってほしいと請われ、金属音のような高音が出るよう調整をしたことも。特殊な音を出すには技術が求められ、「堀田さんでしか作れない」と、同業者から客を紹介されることもあるという。



津島神社に奉納されている太鼓。毎朝・夕と祭事前には境内にその音が鳴り響き、大晦日から年をまたぐ0時には宮司がバチを握る。

地域ごとに異なる祭りの音色を、皮の張りひとつで操る高度な職人技。

先代の言葉が堀田さんの心に染み付いているのだそう。現在、堀田さんの工房では、今春、高校を卒業して加わった若者を含め、3名の職人が腕を振るう。「鼓動、鼓膜、鼓舞など、太鼓の『鼓』という字は、人と関わりが深いんですよ」と、太鼓に思い入れの深い堀田さん。今後は、太鼓に関心のある人を対象に、職人の育成にも力を注ぎたいと抱負を語る。人々を魅了する太鼓の音が後世でも響くよう今後の活躍が期待される。



毎年4月に行われる津島神社の祭礼に、「堀田新五郎商店」も協力。樹齢数百年の木で作った胴をくぐり、太鼓を打って無病息災を願う。



音色の美しさもさることながら、見た目の芸術性も高い「芸能太鼓」。能楽や祭り、演芸場などで人々を楽しませる。



テンポよく鉾を打つ堀田さん。「鼓面は牛の皮なので、同じ哺乳類である人間と音の周波数が合うんだと思います」と、頬を緩める。



樺(ケヤキ)、桧(セン)、タモなど、大小さまざまな大量の胴を保管する倉庫は複数あり、所狭しと積み上がる。

「カ、カーン、カ、カーン」と、リズムカルな音が響き渡る工房。「堀田新五郎商店」で手掛けるのは、素材の加工から太鼓作りまで、全工程に及ぶ。まずは、木材の調達から。胴の材料となる木は、カンナやチェーンソーなどで一つひとつ掘り進めたのち、最低3年はかけて乾燥。祭りや神事、芸能など用途は多岐に渡り、それぞれの大きさや長さに合わせ加工を施す。胴に張る皮にもこだわりが強く、黒毛和牛に限定。傷が多い傾向のオスは避け、きめ細かくやわらかいメスの皮のみが、堀田

信念を貫き、原木からの一貫生産。昔ながらの技法で地道に太鼓作りを。

さんの太鼓の音を作り出す。「ひとつの太鼓に必要とされる皮は牛一頭分にもおよび、この皮を門外不出の製法でなめし、弾力を引き出します。作業的に化学薬品は便利ですが、皮がもろくなるため使用しません」ときっぱり。さらには、なめした皮を見て、良い音が鳴る部分を探し当てるといふから驚きだ。「1センチでも『ツボ』を外すと、いい音は出ません」と、鋭い眼差しを覗かせる。丹精込めて作られた太鼓を打つと、音はもちろん、ビリビリと体の芯まで波動が伝わり、力強くも心地良く感じられる。



ふたり組で行う皮張りの調整。太鼓の上で足踏みし、皮を均一に伸ばして張りのある音に仕上げる。



堀田新五郎商店

津島市下新田町5-123
☎0567-26-2412
8:00~18:00 無休
津島線津島駅下車 徒歩約32分



太鼓の胴になる原木は、樹齢千年を超えるものも。倉庫や作業の見学(無料)は、予約制で平日のみ受け付けている。

伝統と文化が息づくまちで
ゆったりと秋の散歩旅。

01 食感が決め手の 生パスタを堪能！

津島駅東口を出てすぐの場所にある、生パスタが評判のイタリア料理店。デュラム小麦セモリナ粉に赤穂の塩と卵を加えた、手打ち製法による淡路島産の麺は、モチモチとした弾力が自慢です。素材を厳選した料理は、種類豊富なパスタをメインに、自家製生地のピザやアヒージョ、肉・魚料理が揃い、ワインとのマリナージュもおすすです。

かじゅある いたりあん PePe(ぺぺ)
津島市藤里町1-7-1 イーストコマツビル1階
☎0567-25-7571
11:00～14:00、17:00～22:30(各ラストオーダー)
月曜、第2火曜休



選べる日替わりパスタに、ミニサラダとドリンクが付く「PePeランチ(1,100円)」。

低温調理で肉の旨味を引き出した「厳選!! 国産牛のタリアータ(1,870円)」。「グラスワイン(550円～)」。



04 レトロな喫茶店で ほっと一息。

戦前にパン屋として開業し、のちに併設した喫茶部が営業を続け、今なお地域に愛されています。早朝から始まるモーニングは、トーストやホットドッグなど3種類から選べ、目玉焼きを添えるのがトキオ流。ランチタイムには、定番の鉄板イタリアンをはじめ、定食やオムライスなど豊富なメニューが楽しめます。ステンドグラスの照明など、レトロな雰囲気も魅力です。

クマの顔のアイスがのった「ソーダフロート(550円)」。「タマゴサンド(450円)」。



厚切りの肉で食べ応えがある「豚肉の生姜焼定食(1,000円)」は、ご飯、赤だし、小鉢付き。+100円でコーヒーも。

喫茶トキオ

津島市天王通り6-43 ☎0567-26-1238
6:00～14:30(ラストオーダー)
モーニング6:30～11:00、ランチ11:30～月曜休

05 津島の歴史を見守り続ける 由緒ある天王社。

津島駅から天王通りを西へ進んだ先に鎮座する津島神社は、全国に3000社以上ある天王社の総本社です。社伝によると、創建は欽明天皇元年(540年)で、主神は建速須佐之男命(たけはすすけのみこと)。疫病・厄難除けに利益があるとされ、織田家や豊臣家など武将にも崇拝されてきました。戦火を逃れた建物が多く残るほか、樹齢400年を超える大イチョウの黄葉など見どころにあふれています。



国の指定重要文化財である本殿をはじめ、拜殿、祭文殿が一直線に並び配置は、「尾張造」の特徴です。



本殿の東側に位置する楼門は三間一戸・入母屋造り、檜皮葺(ひわだぶき)の立派な造りです。豊臣秀吉公が寄進したと伝わっています。

津島神社 津島市神明町1
☎0567-26-3216 授与品9:00～16:00 参拝無料



02 老舗が製造・販売する 日本の伝統調味料。

安政2年(1855年)創業の、こうじ専門店です。「古いまち並みを大切に」との店主の想いから、趣あふれる町家の前には古井戸が保存されています。店内では、地元産の米を蒸し、こうじ菌を仕込んで育てた手作り米こうじのほか、一般的な食料品店ではあまり見かけない、豆・麦こうじも購入できます。また、米こうじが弾力としっとり感を生み出した、ふわふわのシフォンケーキや、甘酒プリンといった、スイーツも人気です。



きめ細かい生地の「靴のシフォンケーキ ファミリア(1,180円)」。

左から、「麦こうじ」「米こうじ」「豆こうじ」(各1袋200g・390円)。11月～3月には味噌づくり体験も開催(要予約)。

靴屋(こうじや)
津島市本町1-57
☎0567-26-8338 10:00～17:00 日曜、祝日休

PRESENT▶P10



03 地域の食材を生かした 人気の和菓子。



左から時計回りに、津島市発祥の越津ねぎを使った「ネギクッキー(1袋540円)」。「蓮根うしろろ(ハーフサイズ324円)」。「蓮根そだち(141円)」。「くつわ餅(141円)」。

らく楽菓子舗
津島市天王通り5-46
☎0567-26-4412 8:30～19:00 水曜休

PRESENT▶P10

お客さまへの
手土産に
ぴったりです！



シナモン香る「つしまくうへん(162円)」や「エクレー(162円)」など、日常的に楽しめるスイーツも魅力です。

和菓子・洋菓子ともに、手頃な価格で購入できると地元で人気の菓子店。3代目店主は岡崎の和菓子店で修行した技術をもとに、趣向を凝らした創作菓子を得意としています。レンコンのでんぷんを練り込んだういろう、ネギの風味が豊かなクッキー、七宝味噌を使ったゆべし風の菓子など、地域の特産品を取り入れた通年商品は、話題になる手土産としても。11月後半からは、地元産イチゴのタルトも登場します。



イベント情報

11月1日(土)～3日(月・祝)

尾張津島お月見灯路

■場所/市内各寺社各所

11月3日(月・祝)

名鉄のハイキング

尾張の銘酒と発酵の旨みを堪能するコース

■場所/津島駅～近鉄蟹江駅

11月15日(土)

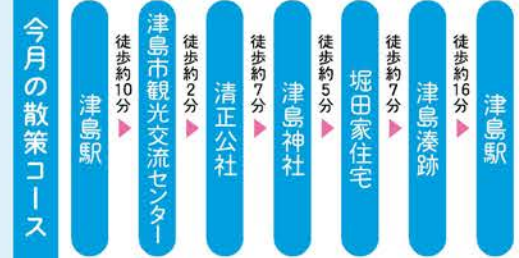
第21回 津島てら・まち御縁結び

■場所/市内各寺社各所

11月23日(日・祝)

津島こい♡こいマルシェ

■場所/本町一丁目界隈



津島市

名鉄名古屋駅～津島駅へのアクセス

- 名古屋本線須ヶ口駅で津島線に乗り換え約30分
- 片道運賃：460円

人口:59,154人(2025年10月現在)
濃尾平野の西部に位置し、市内には津島神社を筆頭に寺社が点在。堀田家住宅をはじめとする文化財も多く残されており、各所で歴史の息吹を感じることができます。



©コンビニエンスストア

Wind Information

今月のプレゼント

1

P5掲載



花屋より
「花のシフォンケーキ ファミリア
(1ホール)」を5名様に

2

P5掲載



らく楽菓子舗より
「焼き菓子詰合せ(6個入り)」を
5名様に

3

P7掲載



津島市観光・プロモーション課より
「スタンダードUV折りたたみ傘」を
5名様に

応募方法

名鉄ホームページ、または右記QRコードよりご応募ください。
プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。
▶ 締 切: 11月20日(木)

プレゼントへ
ご応募はこちら



アプリで発信中!

Windの誌面で紹介したお店や施設などの情報を
名鉄公式アプリ「CentX」でも配信します。
ぜひダウンロードして、ご活用ください!



アプリの
ダウンロードは
こちら



今月の名鉄グループ提供番組

※番組内容・時間が変更となる場合がございます。

【東海テレビ】 金曜22:52より放送	【中京テレビ】 毎週月～金 あさ5:50より放送	【CBCテレビ】 日曜12:54より放送	【メ〜テレ】 毎週月～金 あさ6:00 土 あさ6:30より放送	【ぎふチャン】 水曜21:56より放送
7日・14日・21日・28日 長久手編	地元の採れたて情報をお届け	2日・9日・16日 22日・30日 ※9日は15:54～16:24 ※22日は16:30～17:00	今春24年目に突入 とびだせ! もっと地元で会いに行く。	5日・19日 関市 12日・26日 高山市 ※19日・26日は再放送

12月号のPrecious Storiesは

「一宮モーニング/名鉄一宮駅」です。12月1日の発刊をお楽しみに!

〈プライバシーポリシーについて〉お客様の個人情報は、プレゼントの発送及び、個人を特定できない統計データ作成にのみ利用いたします。
また、ご応募いただいた個人情報を第三者へ提供することはありません。
※掲載内容は変更または中止になる場合があります。詳しくは各店舗・施設へお問合せください。最新の情報は公式サイトなどでご確認の上、おでかけください
(すべて2025年10月24日現在のものです)。写真はすべてイメージです。掲載価格はすべて税込価格です。QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

メイジノオトミニ

意匠編

「メイジノオト・ミニ」は、皆さまのココロや暮らしをちょっとだけ豊かにする、「明治村」に関わる情報をお届けするコーナーです。

明治をつめる。
①をみつける。

メイジノオト



第44回 和洋の調和

東山梨郡役所は、140年前の明治18年(1885年)に建てられた擬洋風建築で、随所に職人の繊細な技術が見られます。外観は、前面にペランダを巡らし、上げ下げ窓やアーチ型の欄間、黒漆喰で塗り出した隅石などから洋風な印象を受けます。一方、室内の天井中心飾りには、菊や牡丹、波に千鳥など「花鳥風月」をモチーフに用いています。洋風建築の雰囲気を残しながらも、日本古来のデザインを取り入れ、擬洋風建築ならではの特色を見せている建物です。



博物館
明治村 60th

名鉄沿線MAP



11月の名鉄沿線イベントカレンダー

11/1㊥・2㊥	1 岐阜市産業・農業祭～ぎふ信長まつり～	■場所/岐阜市中心市街地一帯 ■名古屋本線名鉄岐阜駅下車
11/1㊥・2㊥	2 岡崎ジャズストリート2025	■場所/岡崎市中心市街地一帯 ■名古屋本線東岡崎駅または岡崎公園前駅下車
11/1㊥・2㊥	3 東海秋まつり2025	■場所/元浜公園、市民体育館、勤労センターほか ■常滑線尾張横須賀駅下車 徒歩約10分
11/1㊥～30㊥	4 第70回 香嵐溪もみじまつり	■場所/足助・香嵐溪広場 ■名古屋本線東岡崎駅または三河線豊田市駅から名鉄バス「香嵐溪」下車
11/9㊥	5 第14回 紅茶フェスティバル in 尾張旭	■場所/城山公園スカイワードあさひ ■瀬戸線尾張旭駅下車 徒歩約19分
11/22㊥～11/30㊥	6 そぶエイチョウ黄葉まつり	■場所/祐専寺、祖父江ぎんなんパークほか ■尾西線山崎駅下車

※上記は10月24日現在のものです。最新の情報は公式サイトなどでご確認の上、おでかけください。